

**函館市医療・介護連携推進協議会
多職種連携研修作業部会 第3回会議**

日時：平成28年11月9日（水）19：00～
場所：総合保健センター 2階 健康教育室

【次 第】

1 開 会

- (1) 函館市医療・介護連携支援センターについて

2 議 事

- (1) 研修の概要について
- (2) 研修案内・周知・参加取りまとめについて
- (3) 作業分担について
- (4) 次回（第4回会議：平成29年1月開催予定）に向けた作業イメージ
- (5) その他の取組について

3 その他

- (1) 次回の部会日程について

4 閉 会

【配付資料】

- 1 議事項目
- 2 研修概要書
- 3 当日のタイムテーブル
- 4 グループワークで使用する具体的な事例（案）
- 5 役割分担表
- 6 研修案内文
- 7 参加申込書
- 8 案内先団体・各団体参加定員等一覧
- 9 参考：司会用原稿
- 10 次回スケジュールの確認票

**函館市医療・介護連携推進協議会 多職種連携研修作業部会
第3回会議 出席者名簿**

※★…部会長および副部会長 ○…幹事

(敬称略)

分野	所属団体	氏名	勤務先等
医療	公益社団法人 函館市医師会	○高柳 靖	函館市医療・介護連携支援センター準備室
	一般社団法人 函館歯科医師会	岩井 祐司	戸井歯科診療所
	一般社団法人 函館薬剤師会	水越 英通 ※欠席	(株)はこだて調剤薬局(昭和店)
	公益社団法人 北海道看護協会 道南南支部	北村 和宏 ※欠席	社会医療法人 高橋病院
	道南在宅ケア研究会	佐藤 静	函館市医療・介護連携支援センター準備室
	函館地域医療連携実務者協議会	船山 俊介	社会福祉法人函館厚生院 函館五稜郭病院 医療総合サービスセンター
	一般社団法人 北海道医療ソーシャルワーカー協会 南支部	★部会長 酒本 清一	独立行政法人国立病院機構 函館病院 相談支援室
	北海道柔道整復師会函館ブロック	齋藤 久剛	整骨院さいと
	函館鍼灸マッサージ師連携会	益井 基	益井東洋治療院
介護	函館市居宅介護支援事業所連絡協議会	★副部会長 中村 清秋	居宅介護支援事業所 ひなたぼっこ
	函館市地域包括支援センター連絡協議会	京谷 佳子	函館市地域包括支援センター ゆのかわ
	函館市訪問リハビリテーション連絡協議会	寺田 昌弘	社会医療法人仁生会 西堀病院
	道南訪問看護ステーション連絡協議会	高畑 智子	訪問看護ステーション オハナ
	道南地区老人福祉施設協議会	齋藤 禎史	特別養護老人ホーム シンフォニー

議事項目

(1) 研修の概要について

- ① 概要について
 - ・ 研修概要書 ～ 資料 2
 - ・ 当日のタイムテーブル ～ 資料 3
 - ・ グループワークで使用する具体的な事例 ～ 資料 4
- ② 当日の作業部会メンバーの役割分担について
 - ・ 役割分担表 ～ 資料 5

(2) 研修案内・周知・参加取りまとめについて

- ① 参加対象者 医療・介護関係者
- ② 研修案内について（部会長，センター準備室連名で送付）
 - ・ 研修案内文 ～ 資料 6
 - ・ 参加申込書 ～ 資料 7
- ③ 案内先団体・各団体参加定員等一覧 ～ 資料 8
- ④ 各団体メンバーの作業内容
案内を各団体内に周知し，参加者を募り，参加者を取りまとめ，報告
- ⑤ 参考：司会用原稿 ～ 資料 9

(3) 作業分担について

- ① 作業部会メンバー
 - ・ 各団体における研修案内周知，参加勧奨，参加取りまとめ，報告
 - ・ 研修当日の運営（司会等）や，運営の裏方など
 - ② 函館市医療・介護連携支援センター準備室（函館市医師会病院）
 - ・ 研修開催までの各種スケジュールの進捗管理
 - ・ 各種案内文，資料等作成
 - ・ アンケート調査回答の分析・結果の公表
- (考え方)

多職種連携研修作業部会の幹事の立場であり，また，函館市医療・介護連携支援センターが今年度請け負っている委託業務のひとつであるため，研修については，部会で協議した内容をベースとして，部会長および部会メンバーとともに，センターを運営の軸として実施する。

(4) 次回（第 4 回会議：平成 29 年 1 月開催予定）に向けた作業イメージ

- ・ 案内を各団体内に周知し，参加者を募り，参加者を取りまとめ，報告

(5) その他の取組について

- ・ 研修計画の策定 ～ センター稼働後の年次計画策定
- ・ 各団体，各機関の研修情報の一元化および情報提供支援の仕組み作り
 - > 平成 29 年 3 月開催予定の部会（次々回）で協議

別紙 研修概要書

名 称	第2回 函館市医療・介護連携多職種研修会
目 的	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年4月から稼働を開始する「函館市医療・介護連携支援センター」の機能と役割を理解する。 医療・介護の現場の実例を通じて、双方の立場や悩み、または負担となっていることを関係多職種間で共通認識し、切れ目のない医療・介護が必要な局面での、適切な連携のあり方について協議する。 関係多職種間の「顔の見える関係づくり」や率直な意見交換の場として、研修会終了後に懇親会を開催する。
共 催	函館市（函館市医療・介護連携推進協議会） 函館市医師会（函館市医療・介護連携支援センター準備室）
日 程	平成29年2月11日（土） 14:00～17:00（予定） ※ 研修終了後、職種を超えた交流を目的とした懇親会を予定
会 場	ホテル函館ロイヤル （函館市大森町16-9 電話26-8181）
司 会	道南訪問看護ステーション連絡協議会 会長 高畑 智子
テ ー マ	「切れ目がある医療・介護連携に焦点をあてる」
内 容	<ul style="list-style-type: none"> 講演「函館市医療・介護連携支援センターについて（仮）」 演者 函館市医療・介護連携支援センター 医療福祉相談係長 高柳 靖 事例「シームレス化できなかった事例（仮）」 発表 ○○病院 医療ソーシャルワーカー ○○ ○○ グループワーク（最大27テーブル／8人掛け） <ul style="list-style-type: none"> ① 同職種グループ「専門職の視点から見る問題と課題」 ② 多職種グループ「多職種の視点で見える問題と課題、解決策」
参加対象	「市内の医療・介護関係者」
参加人数	約220名（見込）
参加費用	無料（懇親会参加費用は別途徴収 ※金額は概ね@3,000円程度）
関係者参考	<p>【函館市医療・介護連携推進協議会 多職種連携研修作業部会】</p> <p>北海道医療ソーシャルワーカー協会 酒本 清一 部会長 函館市居宅介護支援事業所連絡協議会 中村 清秋 副部会長 函館歯科医師会 岩井 祐司 函館薬剤師会 水越 英通 北海道看護協会 北村 和宏 道南在宅ケア研究会 佐藤 静 函館地域医療連携実務者協議会 船山 俊介 北海道柔道整復師会 齋藤 久剛 函館鍼灸マッサージ師連携会 益井 基 函館市地域包括支援センター連絡協議会 京谷 佳子 函館市訪問リハビリテーション連絡協議会 寺田 昌弘 道南訪問看護ステーション連絡協議会 高畑 智子 道南地区老人福祉施設協議会 齋藤 禎史</p> <p>【函館市医療・介護連携支援センター準備室】 高柳 靖, 佐藤 静, 長谷川 奈生子, 川村 美美子</p>
備 考	アンケート実施

当日のタイムテーブル

平成 29 年 2 月 11 日 (土) 午後 2 時～午後 5 時 (開場 午後 1 時 30 分)

時刻	タイトル	主な講師	分類	時間	司会
13:30	開場	司会		—	司会…高畑 智子 (サブ司会…京谷 佳子 ※事務連絡)
14:00	開会挨拶／趣旨説明	司会 本間会長	他	5 分	
14:05	講演	高柳 講師	講義	30 分	
14:35	事例説明／グループワーク進め方説明	MSW 司会	説明	10 分	
14:45	グループワーク① 「同職種」	司会	演習	50 分	
15:35	休憩, 席移動	司会	説明	10 分	
15:45	グループワーク② 「多職種」	司会	演習	50 分	
16:35	グループワーク発表	司会	演習	20 分	
16:55	総評 (Dr)	司会	演習	5 分	
17:00	閉会挨拶／アンケート依頼／懇親会案内	司会 主催代表	他	5 分	
17:05	アンケート記入, 会場移動 (懇親会出席者)	—	他	—	
小計				185 分	
18:00	懇親会			90 分	
19:30	(終了)				
合計				275 分	

《 患者情報 》

患者：Aさん 80歳代前半 女性
診断名：誤嚥性肺炎
家族構成：娘一人（市内在住）
既往歴：甲状腺機能低下症・脳梗塞後遺症
経過：サービス付き高齢者住宅Bに入居中 要介護3 担当ケアマネ有

《 入院から退院後の経過 》

- 4月20日 前日より微熱があり、ヘルパー付き添いでC医院を受診し風邪くすりの処方を受ける。内服開始後、バイタルも安定したため施設で経過をみていたが、日に日に元気がなくなり食欲も低下。
- 4月27日 早朝、39度台の発熱と意識レベルの低下がみられ救急要請。2次輪番救急当番のD病院へ搬送、誤嚥性肺炎の診断で入院となる。その後、肺炎症状は軽快したが、廃用性症候群によるADLの低下が著明のため、リハビリ目的で転院の運びとなる。
- 6月10日 D病院からE病院へ転院。リハビリは順調に進み、ADLも肺炎発症前のレベルまで回復したため退院許可がおりる。しかし、もともと生活の場としていたサービス付き高齢者住宅Bでは、以前よりADLが低下しており夜間帯の対応も含め受入れ困難と断られる。
- 8月30日 E病院を退院し、在宅系施設Fへ入所となり、かかりつけ医は施設Fの協力病院でもあるGクリニックとなった。Gクリニックへの受診予定は9月5日の予定であったが、9月2日の時点で残薬が不足することが判明。在宅系施設FはGクリニックへ連絡し受診日の変更を依頼しようとしたが、9月2日～9月4日まで休診で連絡がとれなかった。最後に退院したE病院へ処方の追加の依頼をしたが、Gクリニックへ診療情報提供をしているとの理由で断られる。
- 9月3日 予約なしでGクリニック宛ての診療情報提供を持参してD病院を受診。D病院を受診。D病院でも対応に苦慮したがMSW介入でひと段落する。

平成28年11月 日

〇〇
〇〇 〇〇 様函館市医療・介護連携推進協議会
多職種連携研修作業部会 部会長 酒本 清一函館市医療・介護連携支援センター準備室
函館市医師会病院事務部長 伊藤 正純

「第2回 函館市医療・介護連携多職種研修会」の開催について（参加者推薦依頼）

貴会におきましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、当協議会では、函館市医療・介護連携支援センター準備室と共催で、多職種の皆様を対象とした、別紙研修概要書の内容で研修会を開催することといたしました。

本研修会につきまして、貴会会員の皆様にも是非ご参加を賜りたく、参加者の推薦をお願い申し上げます。なお、参加者の職種バランスを考慮し、現在のところ〇〇名を定員（※）として参加を受け付けております。

※ 目安として設定させていただきましたが、他団体からの参加者の状況も確認しながら、参加人員数については柔軟に対応させていただきますので、まずは参加希望をお取りまとめいただければ幸いです。

なお、会場の都合により後日参加者の人数を調整させていただく場合もございますのでご了承ください。

※ 会場の駐車スペースには限りがございます。公共の交通機関等ご利用していただきますようお願いいたします。

ご多用の折に大変ご迷惑をおかけしますが、同封の参加申し込み用紙にて、平成29年〇月〇日（〇）までにご連絡をお願いいたします。

[お問い合わせ先]

函館市医師会病院内

函館市医療・介護連携支援センター準備室 担当：高柳，川村，佐藤，長谷川

Mail：ikr-center@hakodate-ishikai-hp.jp

電話：43-3939 FAX：43-1199

函館市医療・介護連携支援センター宛
(FAX 0138-43-1199)

第2回函館市医療・介護連携多職種研修会 事前質問表

(平成28年〇月〇日締め切り)

函館市医療・介護連携支援センターの業務内容などについて、ご意見・ご質問がございましたら、ご自由にお書きください。

《 ご意見・ご質問内容 》

* 1枚に複数ご記入して頂いても結構です。

【施設名】

【記入者】

【職 種】

【TEL/FAX】

第2回 医療・介護連携多職種研修会 参加取りまとめ用紙

(返信×切:平成29年〇月〇日/お問い合わせ:0138-43-3939)

貴団体名	(ご担当者名:)	電話番号	—	—
メール		FAX番号	—	—

* 各団体で取りまとめた後、一覧表(別書式)にデータ入力してセンターまで申し込みください

参加者一覧

項目							懇親会参加 (○or×)	
1	氏名		職種		電話番号	—	—	
	所属機関				FAX番号	—	—	
	メール							
2	氏名		職種		電話番号	—	—	
	所属機関				FAX番号	—	—	
	メール							
3	氏名		職種		電話番号	—	—	
	所属機関				FAX番号	—	—	
	メール							

資料7

項目							懇親会参加 (○or×)
4	氏名		職種		電話番号	— —	
	所属機関				FAX番号	— —	
	メール						
5	氏名		職種		電話番号	— —	
	所属機関				FAX番号	— —	
	メール						
6	氏名		職種		電話番号	— —	
	所属機関				FAX番号	— —	
	メール						
7	氏名		職種		電話番号	— —	
	所属機関				FAX番号	— —	
	メール						
8	氏名		職種		電話番号	— —	
	所属機関				FAX番号	— —	
	メール						

案内先団体・各団体参加定員等一覧

公益社団法人北海道看護協会道南南支部支部長 高橋 純子 様
定員 40 名 (参加 名)

道南在宅ケア研究会 会長 福德 雅章 様
定員 10 名 (参加 名)

函館地域医療連携実務者協議会 世話人 亀谷 博志 様
定員 10 名 (参加 名)

一般社団法人北海道医療ソーシャルワーカー協会南支部 会長 山村 哲 様
定員 30 名 (参加 名)

函館市居宅介護支援事業所連絡協議会 会長 中村 清秋 様
定員 30 名 (参加 名)

函館市地域包括支援センター連絡協議会 会長 松野 陽 様
定員 30 名 (参加 名)

函館市リハビリテーション連絡協議会 会長 寺田 昌弘 様
定員 10 名 (参加 名)

道南訪問看護ステーション連絡協議会 会長 高畑 智子 様
定員 10 名 (参加 名)

道南地区老人福祉施設協議会 会長 齋藤 禎史 様
定員 40 名 (参加 名)

函館市医師会 会長 本間 哲 様
定員若干名 (参加 名)

函館歯科医師会 会長 田嶋 久士 様
定員 10 名 (参加 名)

函館薬剤師会 会長 熊川 雅樹 様
定員 10 名 (参加 名)

北海道柔道整復師会函館ブロック 会長 工藤 重孝 様
定員10名（参加 名）

函館鍼灸マッサージ師連携会 会長 益井 基 様
定員10名（参加 名）

計250名（医師会の若干名を除く）

※定員に作業部会メンバーは含みません。ファシリテーター（ソーシャルワーカー協会、
包括連協、居宅連協）は定員に含みます。

※各団体毎に参加取りまとめして（参加取りまとめ用紙使用）頂き、センターへの申し込みは別書式でのデータをお願いいたします。

第2回 函館市医療・介護連携多職種研修会

(司会 高畑 智子) ※ 事務連絡 (サブ司会 京谷 佳子)

時間	内容	読み原稿
13:45 開会 15分前	事務 連絡	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会は14時から開始いたします。開会に先立ち、皆さまにお願いを申し上げます。 ・研修の妨げにならないように、携帯電話は、マナーモードにするか、電源をお切り頂くなど、音の出ない状態にして頂くよう、お願いいたします。 ・お車でお越しの方に申し上げます。ホテルの駐車場をご利用の方の駐車券の認証は、1Fフロントまたはエレベーター付近にある認証機をご利用ください。 ・上着につきましては、会場内にハンガーを用意しておりますので、各自ご利用いただきますようお願いいたします。 ・本日の資料につきましては、机の上に配布（別紙資料一覧）されておりますので、ご確認願います。 ・グループワークの際、お互いの名前や職種が良くわかるよう、名札のひもを短めにして、机の上に名前が出るように工夫して頂きたいと思っております。
13:58 開会 1~3分前	事務 連絡	<ul style="list-style-type: none"> ・まもなく14時となりますので、定刻どおり研修会を開催いたしますので、お席についてお待ちいただきますよう、お願いいたします。 ・なお、繰り返しになりますが、携帯電話は、マナーモードにするか、電源をお切り頂くなど、音の出ない状態にして頂くよう、お願いいたします。
14:00	司会	<ul style="list-style-type: none"> ・ただいまから、「第2回 函館市医療・介護連携多職種研修会」を開催いたします。 ・本日司会を務めさせていただきます、道南訪問看護ステーション連絡協議会 会長 高畑 智子です。 ・何分不慣れではございますが、円滑な進行のため、ご協力をお願いいたします。 ・それでは、開会に先立ちまして、公益社団法人 函館市医師会 会長 本間 哲 からご挨拶を申し上げます。
	挨拶	〇〇
	司会	・ありがとうございました。
14:03	司会	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは、これから研修会の方を進めてまいります。 ・まず最初に、私の方から、本日の研修の流れについて、簡単にご説明申し上げます。

		<ul style="list-style-type: none"> ・本日の研修は、テーマを「切れ目がある医療・介護連携に焦点をあてる」としまして、前半の講演と後半のグループワークの2部構成としております。 ・前半のセッションは、「函館市医療・介護連携支援センターについて」と題しまして同センターの役割や機能について講演を頂きます。 ・後半のセッションでは、「シームレス化できなかった事例」について同職種、多職種に分けて2回グループワークを行います。 ・途中休憩時間を利用頂きまして、席の移動をお願い申し上げます。 ・2回目のグループワークのテーブルの席は、受付の際にお配りした席順表のお席にお座りいただきます。 ・なお、あらかじめ、各テーブルのファシリテーター、進行役の方を設定させて頂きましたので、ご承知置きください。 ・それでは、前半のセッションといたしまして、函館市医療・介護連携支援センター 医療福祉相談係長 高柳より講演を申し上げます。高柳係長、よろしくお願いいたします。
14:05 (30分)	講演	講演 演者：高柳 靖
14:35 (15分)	司会	高柳係長、ありがとうございました。
(5分)	司会	<ul style="list-style-type: none"> ・それではこれからグループワークに移りたいと思います。 ・本日は1つの事例のもと2回のグループワークを行います。 <p>～グループワーク進め方</p>
(10分)	MSW	<p>～事例紹介</p> <p>発表：〇〇病院 医療ソーシャルワーカー 〇〇 〇〇</p>
14:45	演習	<p>グループワーク①</p> <p>同職種グループ「専門職の視点から見る問題と課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・趣旨説明 ・各テーブルの役割分担（ファシリテーター、発表者） ・使用する事務用品
15:35	事務連絡	<ul style="list-style-type: none"> ・まもなく、1回目のグループワークを終了いたします。この後、10分の休憩をとりまして、2回目の多職種でのグループワークとなりますので、この休憩時間を利用して、席の移動をよろしくお願い申し上げます。 ・次の開始時刻は、15:45となりますので、それまでにお席に着席をお願いいたします。

		・席の移動に際しては、お忘れ物の無いようご注意願います。
15:43	事務 連絡	・まもなく、2回目のグループワークを再開いたしますので、着席してお待ち願います。
15:45	司会	・それでは、2回目のグループワークを開始いたします。 ～グループワーク進め方
	演習	グループワーク② 多職種グループ「多職種の視点で見える問題と課題、解決策」 ・趣旨説明 ・各テーブルの役割分担（ファシリテーター、発表者） ・使用する事務用品
16:35 (20分)	演習	グループワーク発表
16:55	司会	・みなさん、グループワークお疲れ様でした。 ・最後に、本日ご出席いただきました〇〇先生から、総評を頂きたいと思います。 ・〇〇先生、お願いします。
(5分)	演習	総評
	司会	・〇〇先生、総評をありがとうございました。
17:00	司会	・それでは最後に、函館市居宅介護支援事業所連絡協議会 会長であり、本日の研修会を主催した函館市医療・介護連携推進協議会の多職種連携研修作業部会の副会長であります、中村清秋より閉会のご挨拶をさせていただきます。
	会長	〇〇
	司会	・以上を持ちまして、「第2回 函館市医療・介護連携推多職種研修会」を閉会と致します。長時間に渡り、お疲れ様でございました。 ・なお、皆様にお配りしておりましたアンケートにつきましては、ご記入の上、受付のボックスか、近くのスタッフにお渡しください。 ・また、この後懇親会を準備しております。懇親会の会場ですが、〇階〇〇ホールとなっております。 ・懇親会は18:00から開始いたしますので、それまでにお集まりください。 ・懇親会に参加される方は、名札をそのまま着用して、会場へ移動して頂きたいと思っておりますので、ご協力お願いいたします。 ・それでは、研修会を終了とさせていただきます。ありがとうございました。
17:05	他	アンケート記入、会場移動（懇親会出席者）
18:00	他	懇親会

次回スケジュールの確認票

貴所属団体名 _____

お名前 _____

1 次回部会（分科会）開催スケジュールについて

(1) 次回部会（分科会）開催希望日

ご都合が取れない日程に、×をつけてご回答願います。

※開始時刻は18：30または19：00を予定しております。

平成29年1月						
11日	12日	17日	18日	19日	20日	
(水)	(木)	(火)	(水)	(木)	(金)	

(2) 回答連絡先（いずれでも結構です。）

FAX：0138-32-1505

郵送：〒040-0001 函館市五稜郭町23番1号 市立函館保健所地域保健課
函館市医療・介護連携推進協議会事務局 行き

E-mail： iryo-kaigo@city.hakodate.hokkaido.jp